

2024年度 町田市立塚中学校 学校経営計画・学校評価報告書(自己評価・学校関係者評価)

令和7年3月31日

|           |  |            |  |
|-----------|--|------------|--|
| 学校教育目標    | 知性を働き、心情を培い、意志を鍛える   | 学校経営の重点    | ①生徒の自尊感情・自己肯定感の向上を図る教育の充実 ②教師の指導力向上を目指した組織的な授業改善への取組 ③地域や外部人材を積極的に取り入れたキャリア教育の充実   |
| ○目指す学校像…… | ①心身ともに安全で、誰もが安心して通える学校 ②家庭や地域と連携し、地域社会に開かれた学校                              | 重点目標の成果と課題 | 自尊感情・自己肯定感の向上については、研究テーマとして取り組むことで不登校解消にもつながることができた。また、研修の一環として行った相互授業参観は、教員の指導力向上に効果的であった。キャリア教育については、外部講師を活用する回数を精選したことで、生徒が自分自身を見つめる時間の確保にもつながった。研修の2年目として、「学び続ける力」の向上に向け、より生徒の主体的な活動を重視していくことが課題である。 |
| ○目指す生徒像…… | ①21世紀の社会の担い手として、「生きる力」を身につけた生徒 ②知性・品性・耐性があり、さわやかにあひざつのできる生徒                |            |  |
| ○目指す教師像…… | ①人権を大切に、生徒の可能性を引き出すことができる教師 ②新しい発想を取り入れ、組織的に行動・実践できる教師 ③研究・研修に努め、授業で勝負する教師 |            |  |

| 領域             | 教育プランに基づく経営目標   | 中期・短期経営目標                               | 具体的方策  | 取組指標   | 平均  | 評価 | 成果指標   | O% | 評価 | 分析コメント   | 改善策   | 学校関係者評価 | 評価 |
|----------------|---|---|--|--|-----|----|--|----|----|--|---|---------|----|
| 社会に開かれた教育課程の実現 | 目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。                              | 積極的な学校の情報発信に努め、保護者や地域と共有を行う。            | 学校たよりや保健たより、SAKAINOWの掲載等を含め、ホームページの更新を定期的に行う。  | 4. 8月8日以上の更新<br>3. 8月8日以上の更新<br>2. 8月8日以上の更新<br>1. 4月10日までの更新                                    | 4   | A  | 4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上<br>3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上<br>2. 保護者アンケート肯定的評価55%以上<br>1. 保護者アンケート肯定的評価55%未満 | 79 | B  | ホームページの更新に加え、学校たより等のreturn配信を行い、引き続きデジタルと紙での情報発信をすることができた。保護者の行事への参加者は非常に多いが、保護者会の参加率は、50%程度にとどまった。平日開催となるとやむを得ないと思われる。地域交流については、日本文化節・音標節など文化節が老人ホーム等での発表を行うなど、積極的であった。 | 指標評価がA→Bに下がったものの比較的高い数値であり、引き続き学校と地域との連携が効果を上げている。保護者からの要望は多岐にわたるため、コロナ禍も明け、老人ホーム等の地域との連携も戻ってきた。今後とも活動等を中心に校外での活動も継続していく。地域での活動が活性化することは喜ばしいことであるが、教員の負担も考えつつ持続可能な方法を検討していくとよい。 | B       |    |
|                |   | 地域や家庭との連携を強化する。                         | 地域行事への参加、生徒会や部活動を地域での活動や交流<br>1. 年間10回以上の活動・交流<br>2. 年間10回以上の活動・交流<br>3. 年間4回以上の意見交換<br>4. 年間4回以上の意見交換<br>5. 年間4回以上の意見交換<br>6. 年間4回以上の意見交換 | 4. 保護者アンケート肯定的評価70%以上<br>3. 保護者アンケート肯定的評価55%以上<br>2. 保護者アンケート肯定的評価55%以上<br>1. 保護者アンケート肯定的評価55%未満 | 4   | A  | 4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上<br>3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上<br>2. 保護者アンケート肯定的評価55%以上<br>1. 保護者アンケート肯定的評価55%未満 | 65 | C  | 学校運営協議会の委員には、行事の参観に加え、保護者アンケートの分析など有意義な意見交換を行うことのできる。  |   |         |    |
| 確かな学力の育成       | 授業改善を進め、基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等の育成とともに、主体的・対話的で深い学びを実現する。 | 授業の充実と自ら学ぶ力を育てる。                        | 各教科の授業で、生徒がChromebookを使用する場面を効果的に取り入れる。  | 4. 授業での利用率30%以上<br>3. 授業での利用率20%以上<br>2. 授業での利用率10%未満<br>1. 授業での利用率10%未満                         | 2.9 | C  | 4. 生徒アンケート肯定的評価80%以上<br>3. 生徒アンケート肯定的評価70%以上<br>2. 生徒アンケート肯定的評価55%以上<br>1. 生徒アンケート肯定的評価55%未満     | 68 | C  | 授業でのChromebook使用については、今年度が研究指定校ということもあり教員も意識して活用しており、数値も昨年より10ポイント上昇した。教科による差はあるものの、ホームルーターが整備され、さらなる推進が期待される。   | 主体的・対話的な協同学習については、今年度が研究指定校ということもあり教員も意識して活用しており、数値も昨年より10ポイント上昇した。教科による差はあるものの、ホームルーターが整備され、さらなる推進が期待される。  | B       |    |
|                |   | 相互啓発のある活気に満ちた授業の工夫をする。                  | 多分の考えを多様な方法で表現できる機会を多く取り入れ、プレゼンテーション能力を向上させる。  | 4. 80%以上の単元で実施<br>3. 70%以上の単元で実施<br>2. 60%以上の単元で実施<br>1. 60%未満の単元で実施                             | 3.4 | B  | 4. 生徒アンケート肯定的評価80%以上<br>3. 生徒アンケート肯定的評価70%以上<br>2. 生徒アンケート肯定的評価55%以上<br>1. 生徒アンケート肯定的評価55%未満     | 95 | A  | 発表後の学習発表については、高評価で、研究として取り組んでいる成果と思われる。学習会では自主参加であるため参加者の意欲は高いが、定期考査前には利用者が多く生徒の空席は多い。   |   |         |    |
| 豊かな心の涵養        | 多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。                                  | キャリア教育を推進する。                            | 地域人材や外部講師を活用し、職業観の育成を図るとともに、主体的に道路を選択する力を養う。   | 3. 年間10回以上外部講師を活用した授業を実施<br>2. 年間10回以上外部講師を活用した授業を実施<br>1. 外部講師を活用した授業の未実施                       | 4   | A  | 4. 生徒アンケート肯定的評価80%以上<br>3. 生徒アンケート肯定的評価70%以上<br>2. 生徒アンケート肯定的評価55%以上<br>1. 生徒アンケート肯定的評価55%未満     | 83 | A  | 外部講師やキャリアパスポートを活用したキャリア教育については、おおむね高い水準ではあり、特に学年が進行するにつれて数値が高くなってきている。   | 総合的な学習・キャリア教育では、外部講師による講演の回数を見直し計画的に外部人材を導入することで生徒が自分自身を見つめる機会を増やすことができた。生徒によって興味・関心も代々変わってきたので、職場体験などの充実を図ってほしい。   | A       |    |
|                |   | 他者理解と自己理解を通して、一人一人の自己肯定感を醸成する。          | 特別の教科 道徳の研修や道徳講演会の実施を通して、道徳教育の充実を図り、生徒の自己肯定感を向上させる。  | 4. 全てのいじめに対して指導を実施<br>3. 90%以上のいじめに対して指導を実施<br>2. 80%以上のいじめに対して指導を実施<br>1. 80%未満のいじめに対して指導を実施    | 4   | A  | 4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上<br>3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上<br>2. 保護者アンケート肯定的評価55%以上<br>1. 保護者アンケート肯定的評価55%未満 | 64 | C  | 道徳教育については、道徳担当や学級担任だけに限らず学年教員が分担して授業を行うことにより、生徒の道徳性の向上にもつながった。   |   |         |    |
| 健やかな体の育成       | 正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する。  | 体力の向上と食育への関心を高め、健康教育の充実を図る。             | 体力テストの結果分析を生かした保健体育の授業を実施し、日常的に運動に親しみ態度を育成する。  | 4. 80%以上の単元で実施<br>3. 70%以上の単元で実施<br>2. 60%以上の単元で実施<br>1. 60%未満の単元で実施                             | 4   | A  | 4. 生徒アンケート肯定的評価80%以上<br>3. 生徒アンケート肯定的評価70%以上<br>2. 生徒アンケート肯定的評価55%以上<br>1. 生徒アンケート肯定的評価55%未満     | 88 | A  | 今年度から体育の授業を完全に男女共習で実施したが、生徒の運動に対する意欲の向上には思った以上に効果が見られた。  | 体力向上や食育については、安全・安心な学校経営に向けた様々な取組が成果につながっているように思う。   | A       |    |
|                |   | 校内の安全な生活環境を整え、自らを守る安全教育の実施と危機管理体制を確立する。 | 避難訓練や不審者に対応等、安全教育を推進する。  | 4. 90%以上の指導場面で実施<br>3. 80%以上の指導場面で実施<br>2. 70%以上の指導場面で実施<br>1. 70%未満の指導場面で実施                     | 4   | A  | 4. 保護者アンケート肯定的評価80%以上<br>3. 保護者アンケート肯定的評価70%以上<br>2. 保護者アンケート肯定的評価55%以上<br>1. 保護者アンケート肯定的評価55%未満 | 69 | C  | これについては保護者からも高評価であった。避難訓練は、地震・火災だけでなく、不審者対応訓練も計画的に実施し、生徒の意欲向上につながった。   |   |         |    |
| その他            |   |   |  |  |     |    |  |    |    |  |   |         |    |

|                          |                    |                             |
|--------------------------|--------------------|-----------------------------|
| 取組指標の評価基準(結果数値からABCD評価へ) | 成果指標評価基準           | 学校関係者評価の評価基準例               |
| 取組指標平均 3.5以上 ⇒ 評価A       | 成果指標平均 80%以上 ⇒ 評価A | A ⇒ 取組・成果ともに十分評価できる         |
| 取組指標平均 3以上3.5未満 ⇒ 評価B    | 成果指標平均 70%以上 ⇒ 評価B | B ⇒ 取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい |
| 取組指標平均 2以上3未満 ⇒ 評価C      | 成果指標平均 55%以上 ⇒ 評価C | C ⇒ 目標達成には至らないため、次年度の改善が必要  |
| 取組指標平均 2未満 ⇒ 評価D         | 成果指標平均 55%未満 ⇒ 評価D | D ⇒ 重要な課題であるため、次年度、重点的に改善   |

※ 学校独自の設定する場合は、枠内を修正明記してください。